

あ・と・が・き

最近、地方競馬の夢を一心に担ったコスモバルク号が JRA の G 制覇に挑んでいるニュースがあります。育成期に岡田氏のビックレッドファームで鍛えられた馬体を躍動させて走る姿に感動し、清しい気分にはさせられています。高知競馬のハルウラ号とともに地方競馬所属馬が注目される時代ですが、BTC ニュース編集委員は丈夫で強い馬づくりのための技術向上・啓蒙誌としての役割りに改めて貢献したい気持ちにさせられています。

JRA 兼丸総研所長からは「育成馬研究に向けた総研の最近の動き」と題して寄稿頂きました。総研は34年以来、日本の馬研究の中核的役割を担って研究成果をあげていますが、今後も科学的根拠に基づいた育成馬の評価基準等を送り続けることを期待します。

北里大学の高井助教授からは「子馬のロドコカス・エクイ感染症」について寄稿頂きました。本症は未だ生産・育成地で発症していますが、皆さんの日常の不注意で起こる化膿性肺炎や関節炎、下痢等を防ぐために2回に別けて連載します。参考にして下さい。

サイエンテストからの提言のコーナーには元 JRA 総研栃木支所長の秋山氏から「馬伝染性貧血症診断の思い出」を寄稿頂きました。伝貧が日本の地から撲滅されつつあるのは秋山先生のような先輩方の並々ならぬ努力があったからこそです。伝貧診断の苦労話の一端を紹介して頂きました。

「やさしい育成技術」には BTC 斎藤係長が昨年胆振地区で講演した内容の一部を、また、「わが国の育成施設めぐり」には BTC が引退名馬事業の一端として取り組んでいますが、平成 16 年度に承認した道内の馬名の一覧表を紹介します。今後は時に触れ名馬の状況を紹介していく予定です。

(M.K)